

水のめぐみ

Vol.
57

2023
8.15

9月10日は
下水道の日
です



水道週間イベントを実施しました（環境フェアと共に）

水道週間は、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るために、水道について皆様の理解と関心を深めていただく週間です。1959年（昭和34年）に厚生省（当時）により制定されました。今年で65回目を迎え、6月1日から7日まで全国で実施されました。

本市では、市環境部で実施している「環境フェア」との共催により、6月3日（土）にもてなし広場で水道週間イベントを実施しました。上下水道局エリアでは、例年実施している花苗の配布や「高崎の水」飲み比べ、水道管で作る水鉄砲作り・水鉄砲大会、緊急時用浄水装置の実演を実施し、家族連れなど多くの来場者で賑わいました。



ホームページアドレス
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121200394/>

編集・発行

高崎市水道局・下水道局
高崎市高松町35番地1
電話 027-321-1282

公共下水道へ接続のお願い

街をきれいに

排水を直接下水道管に流し、
悪臭を防ぐ。

浸水から街を守る

降った雨を集め速やかに河川へ流し、
水害を防ぐ。

下水道の役割

快適な暮らし

トイレの水洗化により、
衛生的な生活環境を確保。

河川の水質保全

排水を処理場でキレイにして
河川に流し、川を汚さない。

高崎市の公共下水道は、昭和2年に着手して以来、長い年月を費やして積極的に整備を進めてきました。この公共下水道は、皆様に接続していただき利用されることで、初めてその役割を果たすことができます。公共下水道が整備されている地域の皆様は、早期の接続をお願いします。

●問い合わせ先 下水道局整備課（電話027-321-1288）



～净水処理方法～

净水処理の方法に「急速ろ過」と「緩速ろ過」があります。
今回は、これらの净水処理方法について説明します。

急速ろ過

水中の小さな濁りや細菌類などを薬品で凝集、沈殿させた後の上澄みを、1日当たり120～150mの速い速度でろ過池の砂層に通し水をきれいにする方法です。比較的濁りの多い河川水や湖沼水の処理に適していて、日本では、現在最も広く用いられています。この净水処理方法は、狭い敷地でも大量の水を処理できることが特徴です。

緩速ろ過

净水処理に薬品などを使わずに、ろ過池の砂層表面と砂層に繁殖した微生物群や藻の働きを利用して、1日当たり4～5mのゆっくりとした速度でろ過することで水をきれいにする方法です。ろ過池を通る水の速度が急速ろ過と比較して緩やかなことから、「急速ろ過」に対して「緩速ろ過」と呼ばれます。この净水処理方法は、広い敷地と砂の削り取りのための作業が必要となります。

●問い合わせ先 水道局净水課（電話027-321-1286）

ごあいさつ

管理者就任

令和5年4月1日付で高崎市上下水道事業管理者に就任いたしました。危機管理体制を強化し、災害に強い上下水道事業の運営に努めるとともに、将来にわたり安心・安全で良質な水道水の安定供給と下水道の普及促進に尽力してまいります。市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

上下水道事業管理者 内田 昌孝

